

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）【医学研究科】

大学院医学研究科は、国際認証に相応しい大学院教育に基づき、学位授与の方針に示した能力を持つ人材を育む教育課程を編成・実施し、成績評価基準に基づき厳格な評価を行う。

### 1. 教育課程の編成・実施等

#### (1) 共通科目について

共通科目は、最新医学の動向、生命科学倫理学、医学研究概論などの大学院教育における教養科目を開設することで医学研究を俯瞰する機会を提供し、さらに基礎技術実習科目を開設することで基礎研究技術を習得させる学習を実施する。

#### (2) 専門科目について

専攻分野は、分子遺伝情報科学、脳神経科学、腫瘍制御科学、循環病態科学、機能再建・再生科学、総合医療・健康科学、感覚統合科学、病態制御科学、成育科学の9つの領域によって構成されている。博士論文作成に係る研究指導體制を整備した上で、国際的な視野で先端的研究を推進でき、高度な専門性と厳格な倫理観を修得させる体系的な教育課程を編成し、学習を実施する。

### 2. 教育・学習方法

(1) 専攻分野に関する卓越した専門的知識の修得および豊かな人間性と国際的な視野を育む授業科目を開設する。

(2) 実験実習、演習、研究を通して、自ら課題を見出しその解決に向けて探究を進めることで問題解決能力を修得させる。

(3) 研究成果の学会発表、論文作成などを通して、医学教育・研究活動の重要性を学ぶ上で必要な研究指導體制を整備した体系的な教育課程を編成する。

(4) 学生並びに修了生による授業評価アンケートを基に、学生の主体的かつ自律的な学習を促す授業となるよう改善を行う。

### 3. 学習成果の評価

(1) カリキュラム・ポリシーに沿って策定された各授業科目の到達目標の到達状況が確認できる成績評価基準を策定し、客観的に評価する。

(2) 客観性及び厳格性を確保するため、学位審査会を公開で行って博士論文審査及び最終試験を適切に行う。